

科学体験施設「IMAGINUS」の事業検証概要と「科学の拠点」の今後の方向性について

科学体験施設 IMAGINUS（以下「イマジナス」という。）について、運営事業者からの事業撤退の申入れ受諾後、今後の「科学の拠点」のあり方を検討するため、運営実績等の分析や、撤退に至った要因及び事業運営上の課題等の整理を通じて、事業検証を行いました。このたび、その結果を取りまとめたので、以下のとおり報告します。

1 イマジナスの概要

イマジナスは、杉並第四小学校跡地を活用し、企業や専門家等との幅広いネットワークと豊富なノウハウを有する民間事業者の力を活用して整備した次世代型科学教育の拠点であり、主な特徴は以下のとおりである。

- (1) 子どもから大人まで幅広い世代が科学に親しみ、学ぶことができる参加・体験型の科学体験施設
- (2) 科学に関する学びや交流、ネットワーク形成を促進するとともに、企業や科学活動団体等と連携した事業展開を実施
- (3) 専門性や人的ネットワークを有する民間事業者のノウハウを活用するため、民間活力を導入した運営方式を採用
- (4) 「科学の拠点」と集会機能を一体的に運営することにより、利用者の相互利用や事業運営における相乗効果の発揮を目指した運営形態
- (5) 区が施設を貸し付け、運営事業者が利用料金収入等を主な財源として施設運営

2 運営実績及び収支状況

	令和5年度(10月～3月)	令和6年度	令和7年度
利用者数	50,560人	104,453人	99,086人

	令和5年度(10月～3月)	令和6年度	令和7年度
収入	77,065,604	185,444,387	205,941,922
支出	231,569,893	405,263,801	351,608,415
収支差	▲ 154,504,289	▲ 219,819,414	▲ 145,666,493

(詳細は別紙「イマジナスの運営実績及び収支状況」のとおり)

(単位:円、税抜)

3 事業検証結果

(1) 事業の成果

開館から令和7年度末までの延べ利用者数は、約25万人に達し、サイエンスショーやワークショップ、企画展等の多様な科学体験プログラムの実施や、来館者とスタッフとのコミュニケーションを重視した運営は利用者から高い評価を得ており、科学への興味・関心の喚起に寄与した。

また、すぎなみサイエンスフェスタをはじめとする地域との連携や、企業、科学活動団体等との協働を通じて、科学教育を支える人的ネットワークの形成・拡大にも寄与した。

(2) 事業運営上の課題

① 安定した集客の確保

来館者は休日や長期休業期間に集中する傾向が見られた。一方で、年間を通じた安定的な利用者数の確保に向けて平日の団体利用を見込んでいたが、利用実績は想定した水準に至らなかった。また、バス駐車場がないなど団体利用に係る施設条件の制約もあったことから、安定した集客につなげることが難しかった。

② 継続的なコンテンツ更新と収益確保の両立

来館型施設では、利用者に新たな発見や学びを提供し続けるため、展示や体験プログラムの刷新を継続的に行うことが求められる。一方で、それらには相応の経費を要することに加え、公共性の

高い施設として利用料金を大幅に引き上げることにも限界があることから、継続的なコンテンツ更新と収益確保の両立が難しかった。

③ 独立採算型スキームの制約

利用料金収入等を主な財源とする独立採算方式を採用したが、イマジナスは集会機能と一体的に運営する施設であったため、科学体験施設利用者と集会施設利用者を明確に区分することが難しく、入館料徴収方式を採用することができなかった。また、サイエンスショーやワークショップ等の参加料を中心とした収入構造であったことに加え、利用者数にかかわらずプログラム運営や来館者対応に必要な人員配置、施設維持管理費等の固定的な経費が発生したことから、利用者数や収入が想定を下回った場合に収支改善が難しい構造となっていた。

④ 当初想定した相乗効果の限界

施設整備に当たっては、科学体験施設と集会機能を一体的に運営することにより、利用者の相互利用を促進し、利用者数の拡大や収益向上につなげることを期待していた。加えて、集会機能の一つである体育館を活用した企画展等を実施するなど、多様なプログラムの提供を図ってきた。しかし、こうした取組は一定の成果を上げたものの、利用拡大や収益向上は当初想定した水準には至らず、施設全体の収支改善や持続的な施設運営を支えるまでの効果を発揮することはできなかった。

4 事業の総括

イマジナスは、科学教育の普及や区民の科学への興味・関心の喚起、科学教育を支える人的ネットワークの形成・拡大などにおいて一定の成果を上げた。

一方で、科学教育施設には、公共性の高い施設として利用しやすい料金水準への配慮が求められることに加え、利用者に新たな発見や学びを提供し続けるため、展示やプログラムの刷新、専門人材の配置、施設の維持管理などに継続的な経費を要するという特性がある。また、利用者が休日や長期休業期間に集中する傾向があり、年間を通じて安定した利用者数や収入を確保しにくい状況にあった。

加えて、イマジナスは集会機能と一体的に運営する施設であったことから入館料徴収方式を採用できず、サイエンスショーやワークショップ等の参加料を中心とした収入構造となっていた。このため、利用者数が想定を下回った場合でも必要な人員配置や施設維持管理費等の固定的な経費負担が生じ、収支改善が難しい構造となっていた。

このような施設の特性を踏まえると、イマジナスにおいては、公共性の高い来館型科学教育施設としての役割と、利用料金収入を主な財源とする独立採算型の運営との両立に課題があったものと考えられる。

5 今後の科学の拠点のあり方の方向性

今回の事業検証を通じて、イマジナスは科学教育施設として一定の成果を上げた一方、持続的な施設運営に向けては課題があったことが明らかとなった。これまで培われた成果や人的ネットワークを継承するとともに、検証結果を踏まえ、イマジナスの一部を活用して、公共性と持続可能性を両立できる新たな「科学の拠点」のあり方について検討を引き続き進める。

(1) 基本的な考え方

- ① 出前型・ネットワーク型の科学教育事業を支える拠点機能を継承・発展
- ② イマジナスで培われた人的ネットワークを継承・発展
- ③ 科学に関する学び・交流・ネットワーク形成機能を強化
- ④ 区民が身近に科学に触れられる開かれた環境を確保

(2) 今後の検討の視点

- ① 科学教育施設が公共性と持続可能性を両立できる施設規模と運営手法
- ② 地域・科学活動団体、学校・民間事業者等と区の最適な役割分担
- ③ 多様な学習ニーズに対応した新たな「科学の拠点」の構築

別紙「イマジナスの運営実績及び収支状況」

1. 施設運営の基本的情報

(1) 施設運営の基本的情報

開館	令和5年10月
開館時間	午前9時～午後9時　／　休館日：毎週火曜日（休日の場合は、翌水曜日）・年末年始・その他臨時休館あり
主な機能	科学体験ラボ（科学体験ショーなど）、ワークショップ、企画展示、集会施設、体育館、カフェ等
対象	子どもから大人まで
事業の位置付け	参加・体験型の科学教育拠点として、科学に関する学びや交流、企業・科学活動団体等との連携及びネットワーク形成を促進

2　利用状況

(1) 年度別利用者数

年　度	入館者数	営業日数	1日平均	子どもの割合
令和5年度（10～3月）	50,560	161	314	74.0%
令和6年度	104,453	325	321	75.0%
令和7年度	99,086	315	315	73.0%

(2) 月別利用者数

年　度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和5年度（10～3月）							6,568人	8,268人	5,268人	7,100人	9,729人	13,627人
令和6年度	16,890人	10,432人	6,550人	9,414人	16,475人	7,248人	6,139人	4,660人	5,645人	4,842人	5,734人	10,424人
令和7年度	9,061人	8,688人	4,529人	10,976人	24,946人	4,398人	6,140人	4,629人	5,743人	9,138人	5,380人	5,458人

(3) 大人・子どもの利用者数

年　度	大人	子ども	合計	子どもの割合
令和5年度（10～3月）	12,906人	37,654人	50,560人	74.0%
令和6年度	26,238人	78,215人	104,453人	75.0%
令和7年度	26,380人	72,706人	99,086人	73.0%

※「子ども」の区分：科学体験ラボは、令和7年9月までは「中学生・高校生」「4歳～小学生」「3歳以下」、令和7年10月以降は「中学生～4歳」「3歳以下」。
※利用者数は、科学体験ラボ、ワークショップ、ものづくりラボ、企画展、プラネタリウム等の利用者数の合計値。

3 年代別利用状況及び区民利用率

(1) 科学体験ラボの年代別利用者数

年度・期間	区分	人数	構成比	備考
令和5年度 (10～3月)	大学生・大人	8,860人	49.9%	計17,761人
	中学生・高校生	121人	0.7%	
	4歳～小学生	7,784人	43.8%	
	3歳以下	996人	5.6%	
令和6年度	大学生・大人	16,015人	48.4%	計33,062人
	中学生・高校生	317人	1.0%	
	4歳～小学生	15,065人	45.6%	
	3歳以下	1,665人	5.0%	
令和7年度 (4～9月)	大学生・大人	7,572人	47.4%	計15,983人
	中学生・高校生	181人	1.1%	
	4歳～小学生	7,352人	46.0%	
	3歳以下	878人	5.5%	
令和7年度 (10～3月)	高校生以上	4,078人	22.9%	計17,780人
	中学生～4歳	3,631人	20.4%	
	3歳以下	506人	2.9%	
	4歳以上（新ラボ）	8,776人	49.4%	
	3歳以下（新ラボ）	789人	4.4%	

※令和7年10月の科学体験ラボのリニューアルに伴い、年代区分が変更されているため、期間を分けて表示。

(2) 区民利用率

年度	杉並区内の予約件数	予約件数合計	区民利用率
令和5年度（10～3月）	2,099	5,263	39.9%
令和6年度	2,059	8,049	25.6%
令和7年度	1,714	5,573	30.8%

※オンラインによる予約件数。当日現金購入は含まない。区民利用率＝杉並区内の予約件数÷予約件数合計。

(3) 集会施設の利用率

室名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
集会室1	3.2%	12.9%	18.0%
集会室2	17.1%	23.6%	29.3%
集会室3	20.4%	22.9%	26.0%
多目的室	5.6%	24.8%	34.8%
体育館	22.0%	45.2%	67.6%

※利用率＝（区内登録団体、区内利用者、一般利用者及び行政使用の合計）÷（利用可能コマ数－イマジナス利用コマ数）×100。
※令和5年度は令和5年10月から令和6年3月まで。令和6年度及び令和7年度は各年度末までの実績。

(1) 各コンテンツごとの利用者数、計画・実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実績	計画	達成率
科学体験ラボ							2,250人	3,316人	2,160人	2,672人	3,952人	3,411人	17,761人	15,070人	117.9%
実験教室・WS							3,281人	3,593人	2,338人	3,085人	3,748人	5,127人	21,172人		
特別企画展							-	-	-	-	-	3,386人	3,386人	8,000人	42.3%
企画展示室							890人	926人	467人	863人	1,427人	1,451人	6,024人	4,770人	126.3%
ものづくりラボ							66人	350人	215人	430人	531人	585人	2,177人		

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実績	計画	達成率
科学体験ラボ	2,986人	2,345人	2,845人	3,617人	5,675人	2,581人	2,220人	1,794人	1,727人	1,716人	2,496人	3,060人	33,062人	44,920人	73.6%
実験教室・WS	5,173人	3,825人	2,991人	3,495人	6,053人	3,511人	3,049人	2,354人	2,190人	1,989人	2,612人	2,778人	40,020人	43,840人	91.3%
特別企画展	5,631人	2,546人	-	1,641人	3,678人	169人	-	-	-	-	-	-	13,665人	48,500人	28.2%
企画展示室	2,414人	1,091人	-	-	-	-	-	-	373人	706人	-	3,909人	8,493人	10,720人	79.2%
ものづくりラボ	686人	625人	714人	661人	1,069人	987人	869人	512人	1,355人	431人	626人	677人	9,212人	1,880人	490.0%

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実績	計画	達成率
科学体験ラボ	2,422人	2,621人	1,921人	2,801人	4,622人	1,596人	3,433人	2,716人	2,292人	3,276人	3,025人	3,038人	33,763人	62,580人	54.0%
実験教室・WS	2,530人	2,524人	2,499人	4,146人	6,743人	1,992人	2,199人	1,475人	1,431人	1,977人	1,748人	1,478人	30,742人	44,635人	68.9%
プラネタリウム	-	-	-	-	-	132人	123人	107人	212人	234人	268人	167人	1,243人	14,270人	8.7%
企画展	3,963人	2,246人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	347人	6,556人	3,400人	192.8%
特別企画展	-	-	-	3,855人	14,737人	-	-	-	1,497人	3,301人	-	-	23,390人	20,000人	117.0%
ものづくりラボ	146人	152人	109人	174人	394人	678人	385人	331人	311人	350人	339人	428人	3,797人	10,752人	35.3%

※ 計画：各年度開始前の運営事業者による計画数値

(2) 年度別収支

(税抜)

年度	収入	支出	収支差
令和5年度（10～3月）	77,065,604円	231,569,893円	▲ 154,504,289円
令和6年度	185,444,387円	405,263,801円	▲ 219,819,414円
令和7年度	205,941,922円	351,608,415円	▲ 145,666,493円